

弥 監 発 第 1 3 号

平成 2 4 年 8 月 2 8 日

弥彦村長 大 谷 良 孝 様

弥彦村監査委員 本 多 克
同 武 石 雅 之

平成 2 3 年度弥彦村水道事業会計・弥彦村特定環境保全公共下水道
事業会計 決算審査意見書

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、
その意見を別紙のとおり提出する。

平成23年度企業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 平成23年度 弥彦村水道事業会計決算
- (2) 平成23年度 弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成24年8月8日

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の方法

管理者から送付された弥彦村水道事業会計決算報告書・弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算報告書、並びに貸借対照表、損益計算書、剰余金及び欠損金処理計算書について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて担当課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正などについて慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された決算諸表は、企業会計2事業とも財政状況並びに経営の内容は適正に表示されており、決算内容の計数正否、収支の合理性についても非違はなく、現金、預金残高も預入先金融機関の残高証明書の合計額と符号していることを確認し、適正なる決算であることを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計の審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成23年度水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入2億2,026万8,329円、総費用は1億9,277万8,203円で、差引経常利益は前年度より2,118万9,728円減の、2,749万126円となっている。給水人口が120人減となり、営業用、工業用の給水量の減少により、全体の給水量は前年度比3.35%減少した。

なお、未収金分の特別損失2,336円は最高裁判所の判例となった民法の規定に基づくもので、やむを得ないものと思われる。

安全な水の安定給水に心がけ、配水量の減少に伴い、総収入の増加が見込めない状況であるが、健全な企業運営に努められたい。

収益的収支

(単位：円)

区 分	平成23年度	平成22年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	220,268,329	227,461,850	△ 7,193,521	△ 3.16
総 費 用	192,778,203	178,781,996	13,996,207	7.83
経 常 利 益	27,490,126	48,679,854	△ 21,189,728	△ 43.53
特 別 損 失	2,336	4,450	△ 2,114	△ 47.51
当 年 度 純 利 益	27,487,790	48,675,404	△ 21,187,614	△ 43.53

・業務の状況

給水人口は前年度に比べ120人減って、本年度は9,011人となり、有収水量も営業用、工業用の大幅な減により、有収水量は前年度より4万2,673m³少ない123万2,526m³であった。

(単位：円)

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
給水人口(人)	9,011	9,131	9,161	9,143	9,017
有収水量(m ³)	1,232,526	1,275,199	1,258,293	1,283,527	1,338,298
給 水 原 価	156円41銭	140円20銭	149円30銭	154円07銭	148円99銭
供 給 単 価	176円32銭	176円57銭	176円48銭	176円76銭	177円17銭

2. 平成23年度特定環境保全公共下水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入5億1,429万969円、総費用3億9,426万683円で、差引経常利益は前年度より5,023万4,842円多い、1億2,003万286円となっている。なお、未収金分の特別損失52,916円は、地方自治法の規定に基づくものでやむを得ないものと思われる。

今年度の水洗化率は86.1%(前年85.9%)となっているが、引き続き未加入者への積極的な加入促進を進め、少しでも安定的な企業運営がなされるよう強く望むものである。

収 益 的 収 支

(単位:円)

区 分	平成23年度	平成22年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	514,290,969	455,428,905	58,862,064	12.92
総 費 用	394,260,683	385,633,461	8,627,222	2.24
経 常 利 益	120,030,286	69,795,444	50,234,842	71.97
特 別 損 失	52,916	3,150	49,766	1579.87
当 年 度 純 利 益	119,977,370	69,792,294	50,185,076	71.91

・業務の状況

下水道施設は、住宅などから排出される洗濯水や台所用水などの生活排水が水路や河川に流入し、水質の汚染・汚濁を招き生活環境の悪化をもたらすことを防止し、良好な環境で生活していくためにはなくてはならない施設である。

これまで下水道への加入を働きかけてきていることから、年々処理人口は増加してきたが、全体の人口減により、処理人口は前年度より81人少ない7,441人に、有収水量は前年度より4万925m³少ない102万8,334m³となっている。

(単位:円)

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
処理人口(人)	7,441	7,522	7,399	7,271	6,942
有収水量(m ³)	1,028,334	1,069,259	1,058,810	1,065,289	1,053,565
処 理 原 価	383円40銭	360円65銭	381円33銭	380円79銭	413円55銭
処 理 単 価	149円99銭	149円99銭	150円00銭	149円99銭	149円99銭

3. 未収金について

次年度以降に繰越される未収金の内、未収工事負担金等を除いた使用料については、水道事業では、555万362円(前年542万8,928円)、下水道事業では、1049万3,049円(前年953万8,085円)となっており、2企業会計合計で、前年度より107万6,398円増の、1,604万3,411円となっている。

税務等担当各課とも連携の上、早期のうちに万全な対策を講じられたい。